

## 5. 配偶者・パートナーからの暴力について

### (24) DVについての意識について

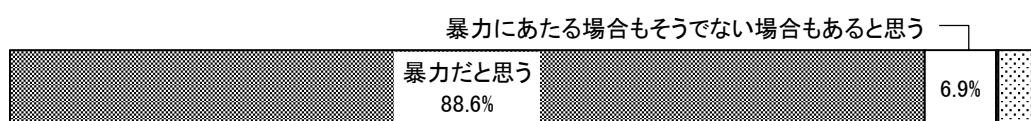
#### 新規調査

問24 あなたは、次のア～カのようなことが夫婦(事実婚や別居中を含む)の間で行われた場合、それをどのように感じますか。あなたの考えに近いものを選んでください。(それぞれ〇は1つ)

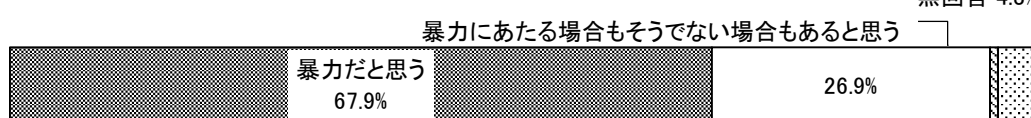
図表24-1 DVについて暴力だと思うか(全体)

N=1,659

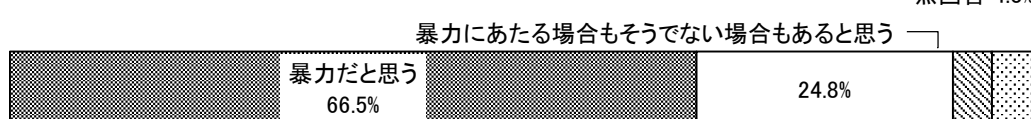
ア. 殴ったり、蹴ったり、物を投げつける



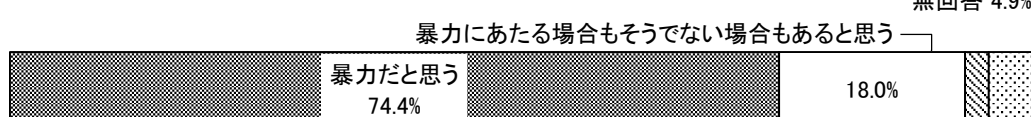
イ. 大声でどなったり、傷つく言葉を言う



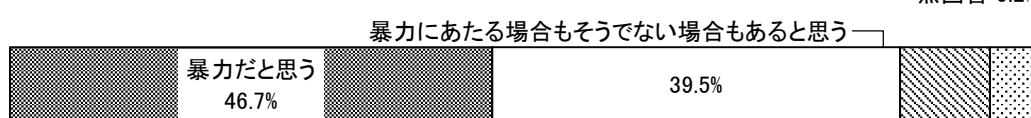
ウ. 生活費を渡さない、金銭的な自由をあたえない



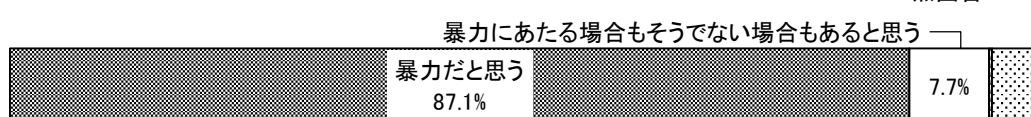
エ. 性的な行為を無理強いする、無理やりポルノなどを見せる



オ. 交友関係、電話、メールなどを細かくチェックする



カ. 子どもに悪口を吹き込んだり、子どもの前で暴力をふるう

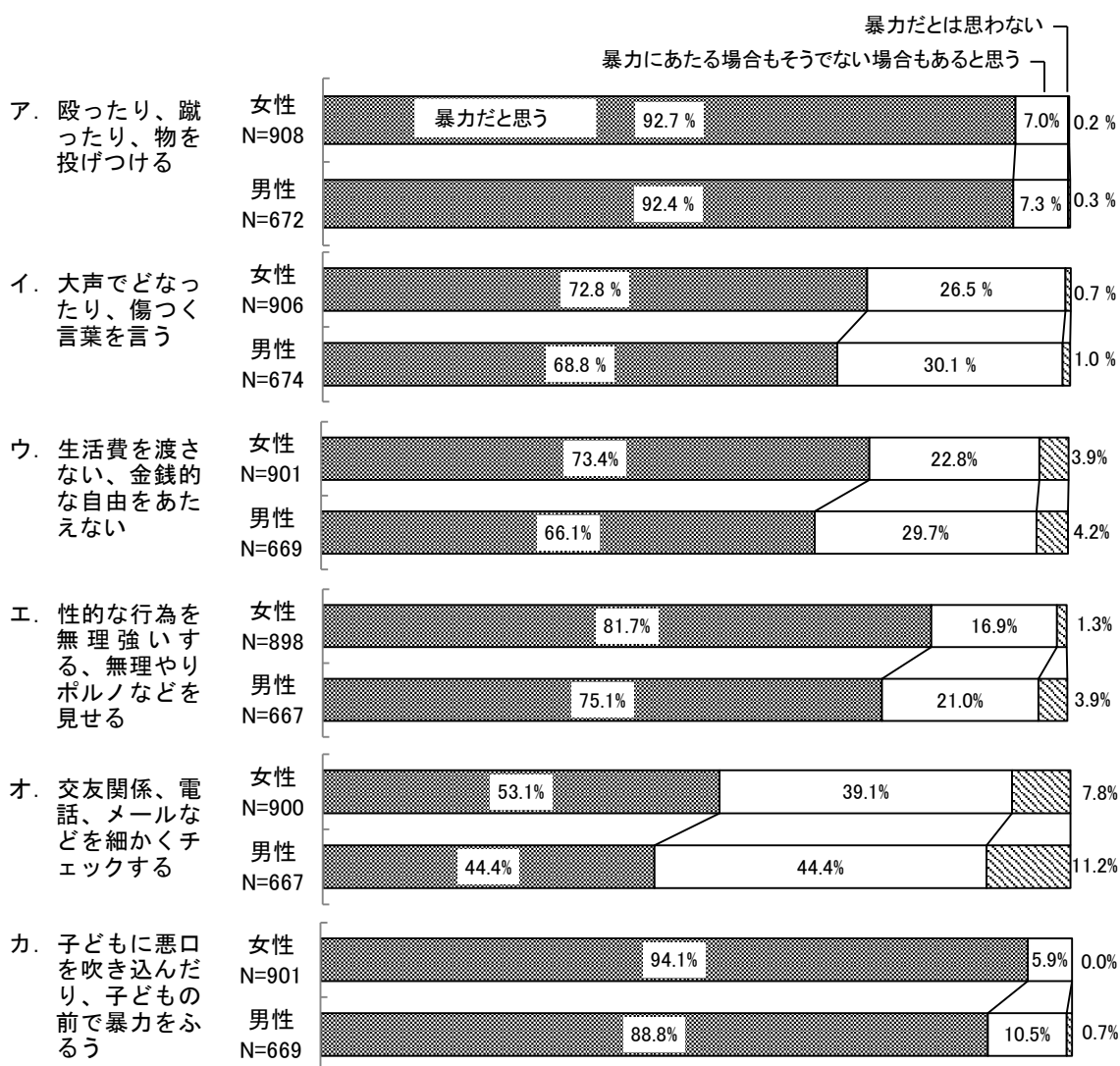


◎暴力だと思うのは、『殴る蹴る』、『子どもの前での暴力』と答えた人が多く、『電話、メールなどをチェックする』では女性のほうがより多く「暴力だと思う」という認識が高くなっている

「夫婦(事実婚や別居中を含む)の間で次のような行為が行われた場合、それを暴力だと思うか」を尋ねたところ、「暴力だと思う」と答えた人の割合が高いのは、「殴ったり、蹴ったり、物を投げつける」(88.6%)、「子どもに悪口を吹き込んだり、子どもの前で暴力をふるう」(87.1%)で8割を超えています。(図表24-1)

男女別に見ると、「暴力だと思う」と答えた割合に差がある項目は『交友関係』で、女性(53.1%)と男性(44.4%)では8.7ポイントの差があります。それ以外の項目や「暴力だとは思わない」については目立った差はありません。(図表24-2)

図表24-2 DVについて暴力だと思うか(男女別)



(25) DV経験の有無について

**新規調査**

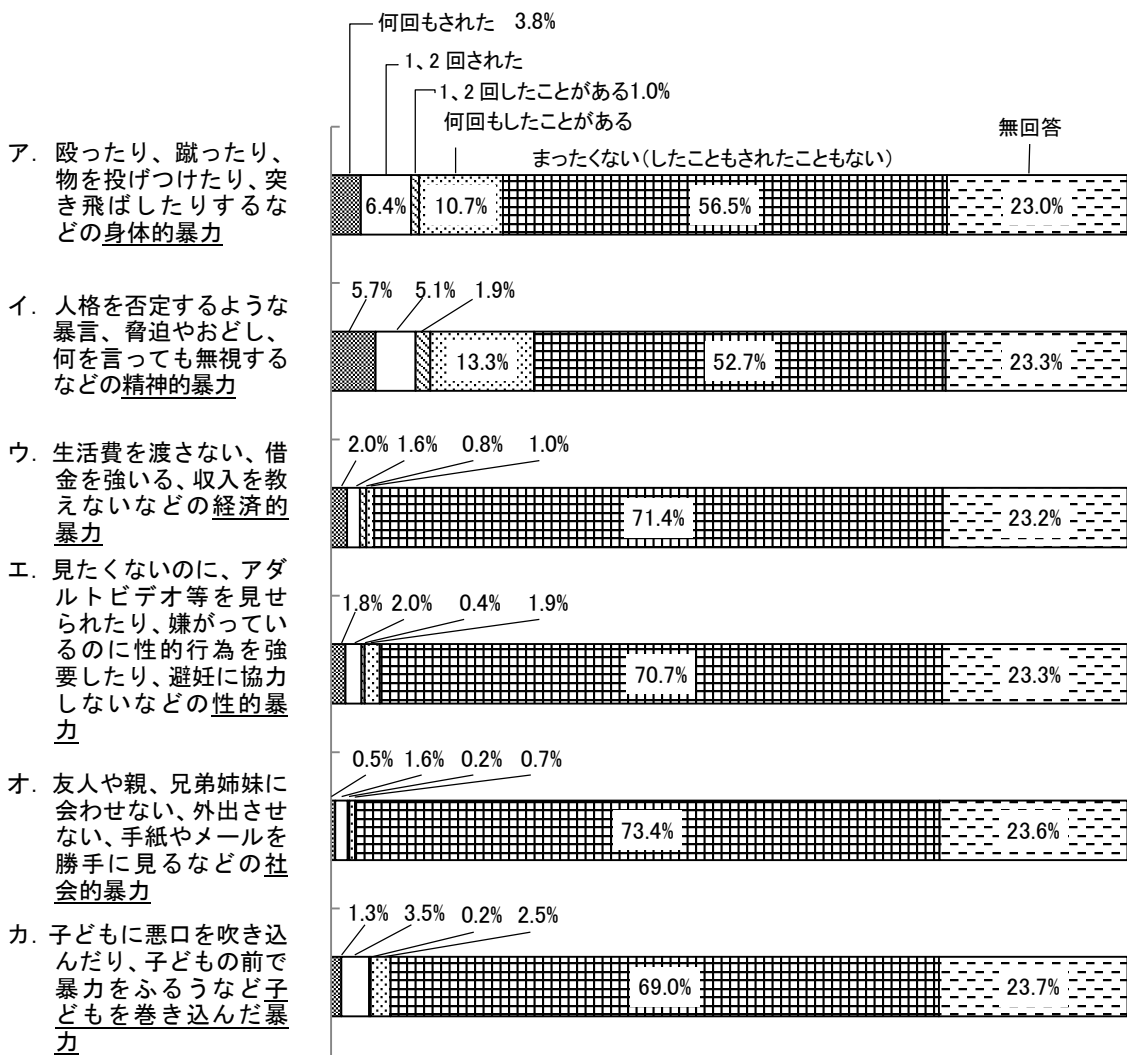
問25 (配偶者・パートナーがいる方のみにおうかがいします。)

(※ここでのパートナーには、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者を含みます)

あなたはこれまでに、次のようなことを「配偶者からされた」または「配偶者にした」経験がありますか。(〇はあてはまるものすべて)

図表25-1 DV経験の有無(全体)

N=1,659



◎被害経験はすべての項目で女性が男性を上回り、加害経験は5項目で男性が女性を上回っている

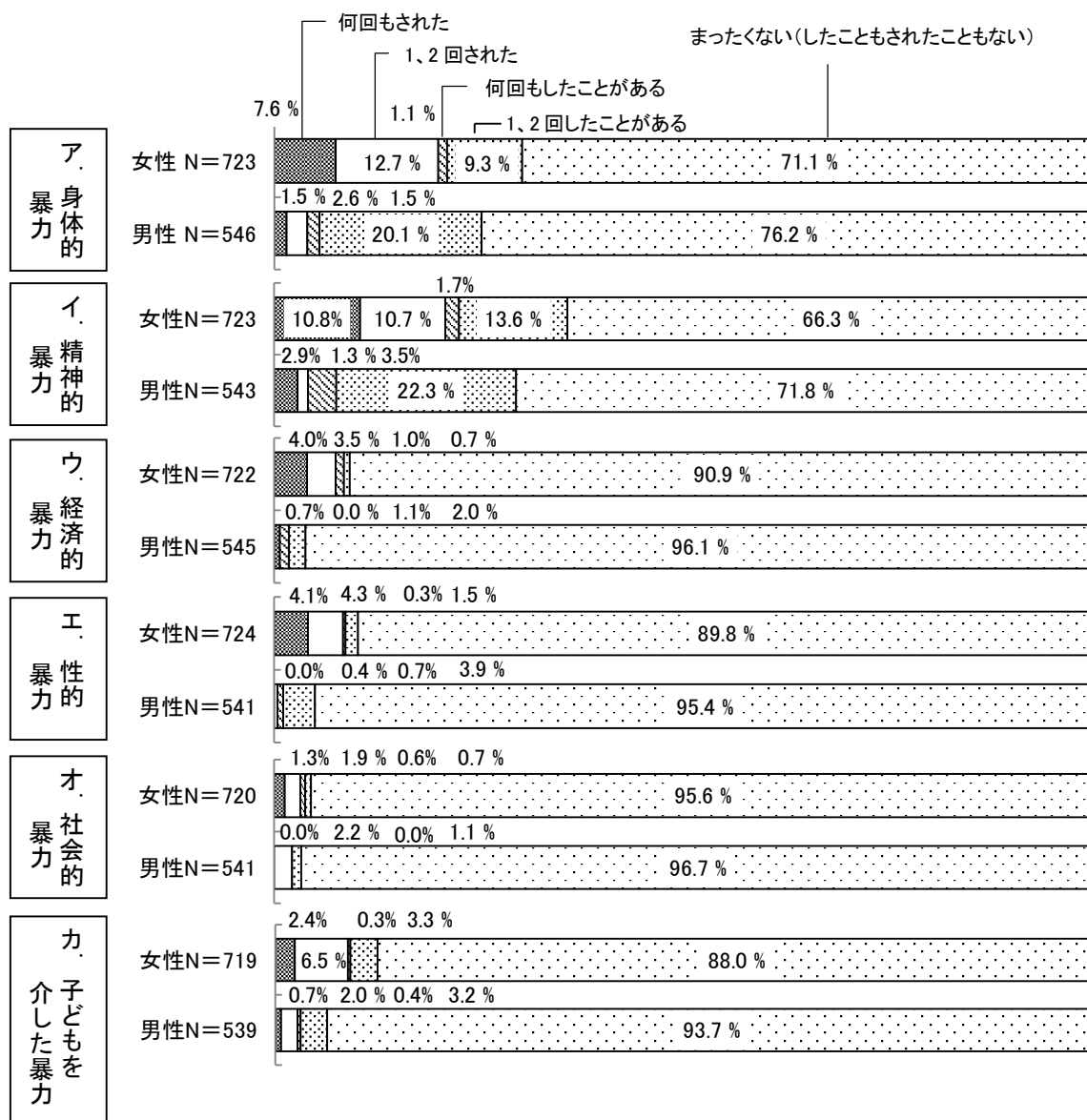
「配偶者やパートナー間でのDV経験」について尋ねたところ、「何回もされた」と「1、2回された」を合わせた『された』では、『精神的暴力』(10.8%)が最も高く、次いで、『身体的暴力』(10.2%)となっています。

また、「何回もした」と「1、2回した」を合わせた『した』では、『精神的暴力』(15.2%)が最も高く、次いで、『身体的暴力』(11.7%)となっており、『された』と同じ順位になっています。(図表25-1)

男女別で見ると、『された』と答えた人の割合は、『精神的暴力』については女性(21.5%)が男性(4.2%)より17.3ポイント高く、『身体的暴力』では女性(20.3%)が男性(4.1%)より16.2ポイント高くなっています。『性的暴力』でも、女性(8.4%)が男性(0.4%)より8.0ポイント高いなど、全ての項目で女性が男性を上回っています。

また、『した』と答えた人の割合は、『身体的暴力』については、男性(21.6%)が女性(10.4%)より11.2ポイント高く、『精神的暴力』では、男性(25.8%)が女性(15.3%)より10.5ポイント高くなっています。『性的暴力』でも、男性(4.6%)が女性(1.8%)より2.8ポイント高いなど、『社会的暴力』を除いて5つの項目で男性が女性を上回っています。(図表25-2)

図表25-2 DV経験の有無(男女別)



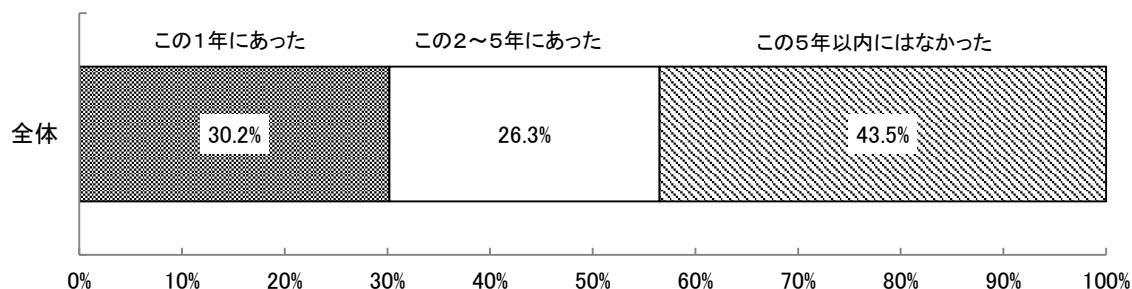
### 新規調査

問 2 5 - 1 (問 2 5 で「何回もされた」「1、2 回された」を 1 つでも選んだ方にお  
うかがいします。)

問 2 5 であげたような配偶者や恋人からの行為は、直近ではいつ頃あり  
ましたか。(〇は 1 つ)

図表 2 5 - 1 - 1 DV を受けた時期 (全体)

N = 262



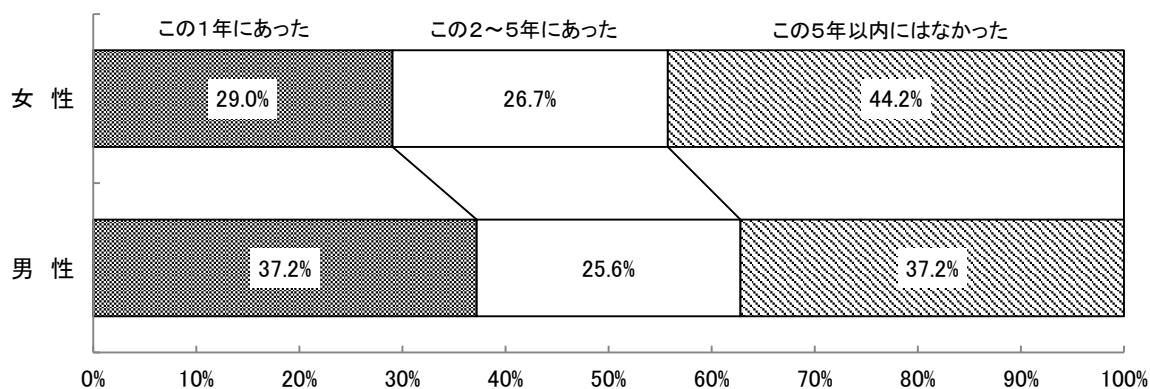
◎直近の被害時期は「この1年にあった」が約3割、「この5年以内にはなかった」は約4割

暴力を受けた時期について、「過去5年以内の被害経験」を尋ねたところ、「この1年にあった」と答えた人の割合は 30.2% となっており、「2～5年にあった」は 26.3%、「5年以内にはなかった」は 43.5% となっています。(図表 2 5 - 1 - 1)

男女別で見ると、「この1年にあった」と答えた人の割合は、男性 (37.2%) が女性 (29.0%) より 8.2 ポイント高くなっています。また、「この1年にあった」、「この2～5年にあった」と答えた人を合わせた割合は、男性 (62.8%) が女性 (55.7%) より 7.1 ポイント高くなっています。(図表 2 5 - 1 - 2)

図表 2 5 - 1 - 2 DV を受けた時期 (男女別)

女性 N = 217 男性 N = 43



(26) デートDVについて

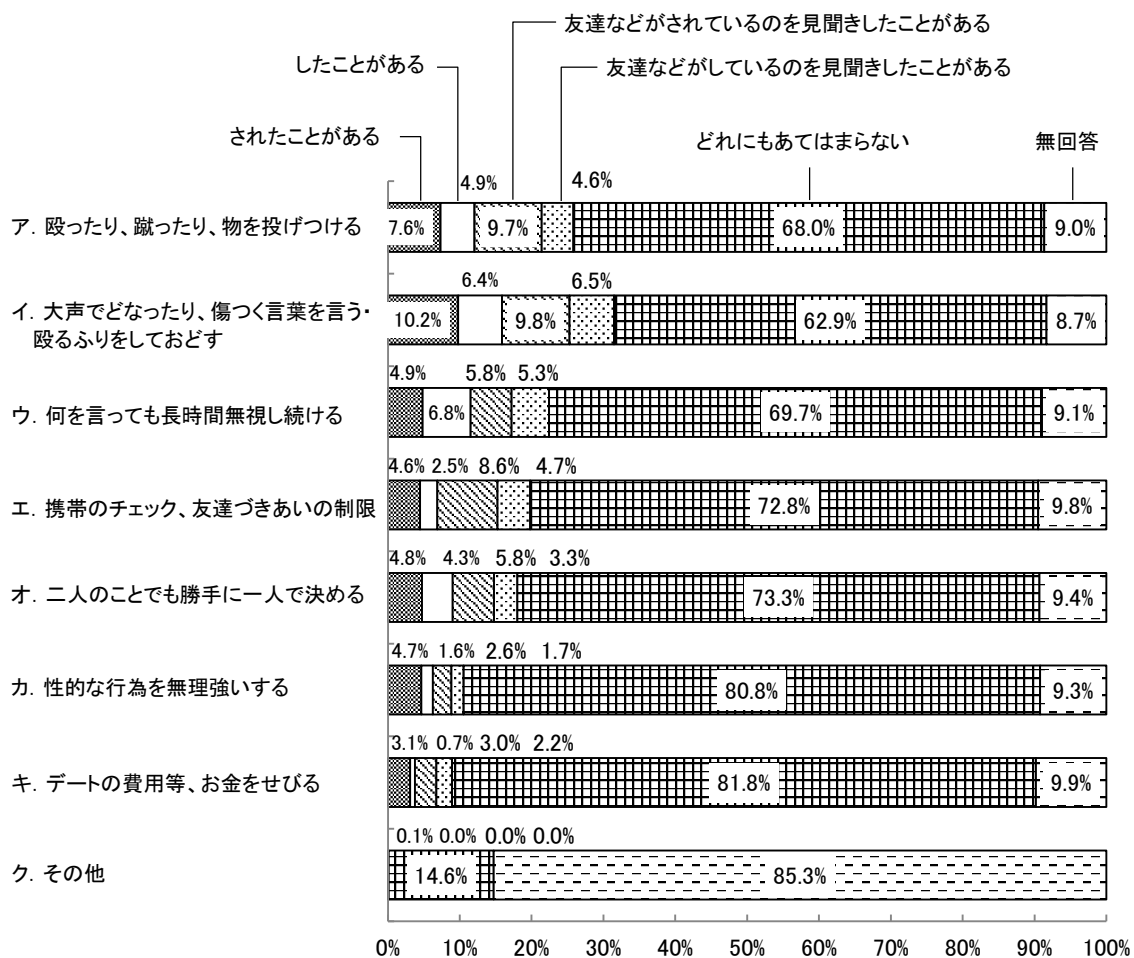
**新規調査**

問26 (あなたの10歳代~20歳代の経験について、すべての方におうかがいします。)

あなたのこれまでの経験の中でのできごとについてお聞きします。恋人などの親密な関係にある人から、次のような態度や行動をあなたがされたり、したことがありますか。また、次のような態度や行動を、あなたの友達などがされたり、しているのを見聞きしたことがありますか。(〇はあてはまるものすべて)

図表26-1 デートDVの経験の有無(全体)

N=1,659



◎「その他」以外の項目について、全体に占める割合は少なくとも、「されたことがある」「したことがある」「友達などがされているのを見聞きしたことがある」「友達などがしているのを見聞きしたことがある」の回答があり、その中でも「友達などがされているのを見聞きしたことがある」と答えた人の割合が少し高くなっている

ア. 殴ったり、蹴ったり、物を投げつける

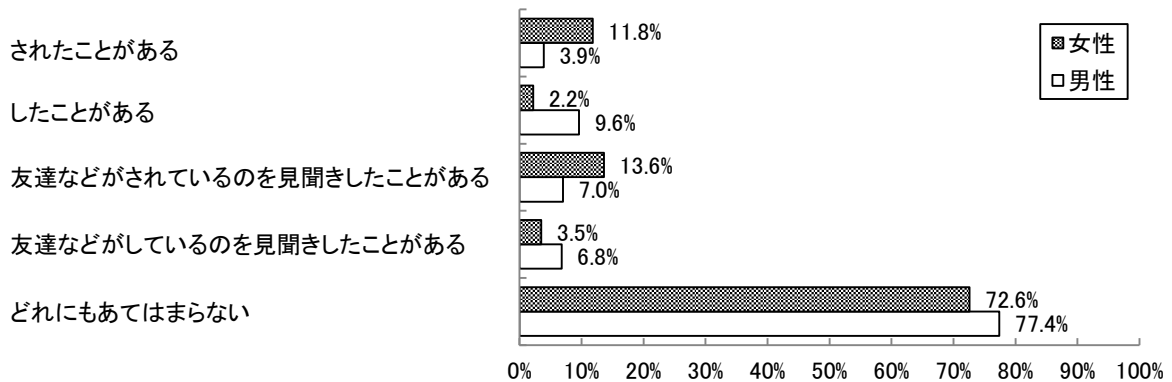
10歳代・20歳代における交際相手からの暴力の被害経験や加害経験について尋ねたところ、全体で見ると、「殴ったり、蹴ったり、物を投げつける」について、「されたことがある」と答えた人の割合は7.6%となっており、「したことがある」と答えた人の割合は4.9%となっています。

(図表26-1)

男女別に見ると、「どれにもあてはまらない」を除いて、女性は『されているのを見聞きしたことがある』(13.6%)と答えた人の割合が最も高く、次いで、「されたことがある」(11.8%)となっています。男性は「したことがある」(9.6%)が最も高く、次いで、『されているのを見聞きしたことがある』(7.0%)となっています。(図表26-2)

図表26-2 デートDVの経験の有無「殴ったり、蹴ったり、物を投げつける」  
(複数回答あてはまるものすべて 男女別)

女性N=855 男性N=647



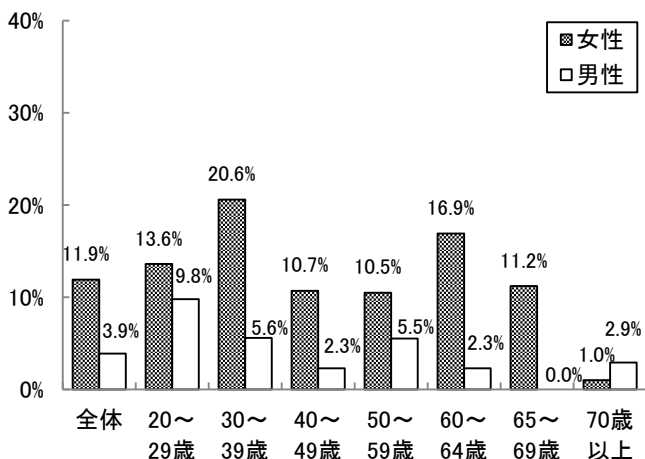
性・年齢別に見ると、「されたことがある」について、女性は「30～39歳」が20.6%で最も高く、次いで、「60～64歳」が16.9%となっています。(図表26-3)

「されているのを見聞きしたことがある」について、女性は「20～29歳」が23.7%で最も高く、次いで、「30～39歳」が22.8%となっています。(図表26-4)

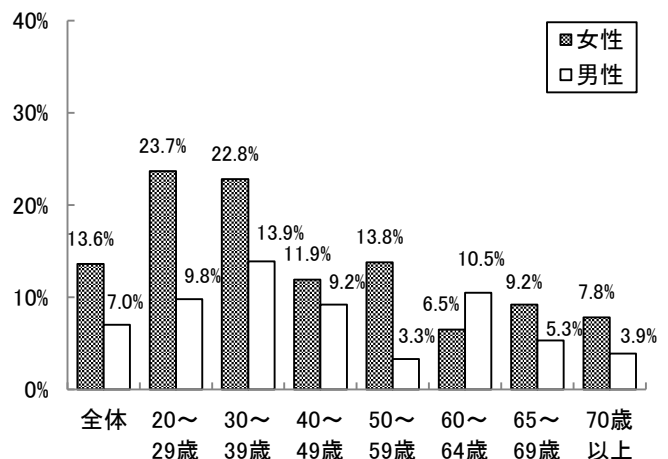
デートDVの経験の有無「殴ったり、蹴ったり、物を投げつける」  
(複数回答あてはまるものすべて 性・年齢別)

女性N=851 男性N=647

図表26-3 されたことがある



図表26-4 されているのを見聞きした



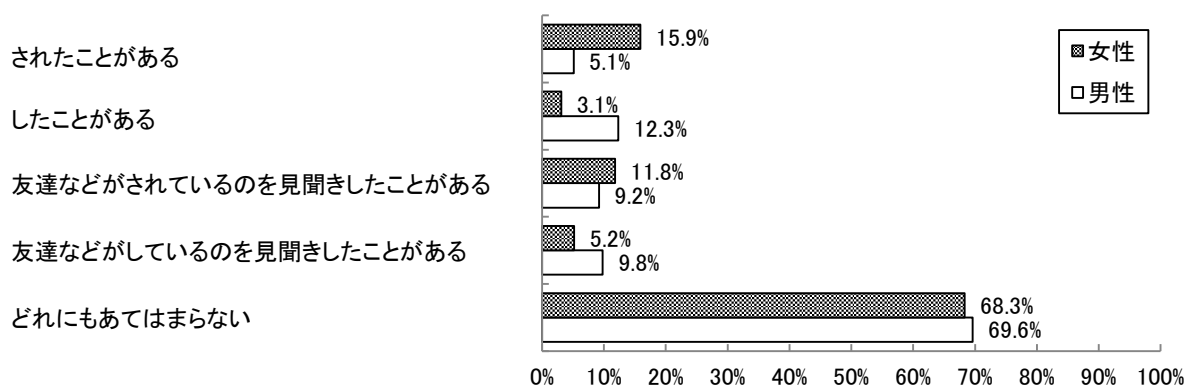
イ. 大声でどなったり、傷つく言葉を言う・殴るふりをしておどす

全体で見ると、『大声でどなったり、傷つく言葉を言う』について、「されたことがある」は10.2%、『されているのを見聞きしたことがある』は9.8%、「したことがある」は、6.4%となっています。（図表26-1）

男女別で見ると、「どれにもあてはまらない」を除いて、女性は「されたことがある」（15.9%）が最も高く、次いで、『されているのを見聞きしたことがある』（11.8%）となっています。男性は「したことがある」（12.3%）が最も高く、次いで、『されているのを見聞きしたことがある』（9.8%）となっています。（図表26-5）

図表26-5 デートDVの経験の有無『大声でどなったり、傷つく言葉を言う』  
（複数回答あてはまるものすべて 男女別）

女性N=863 男性N=644



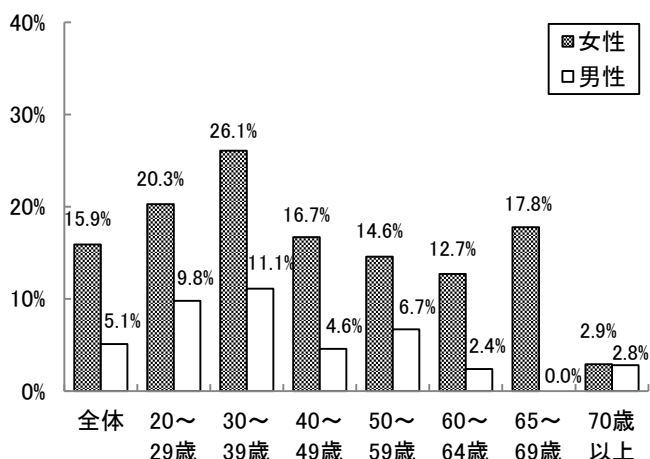
性・年齢別に見ると、「されたことがある」について、女性は「30～39歳」が26.1%と最も高く、次いで、「20～29歳」が20.3%となっています。全ての年齢層で女性が男性より高くなっています。（図表26-6）

「したことがある」について、男性は「30～39歳」が20.8%と最も高く、次いで、「65～69歳」が17.6%となっています。（図表26-7）

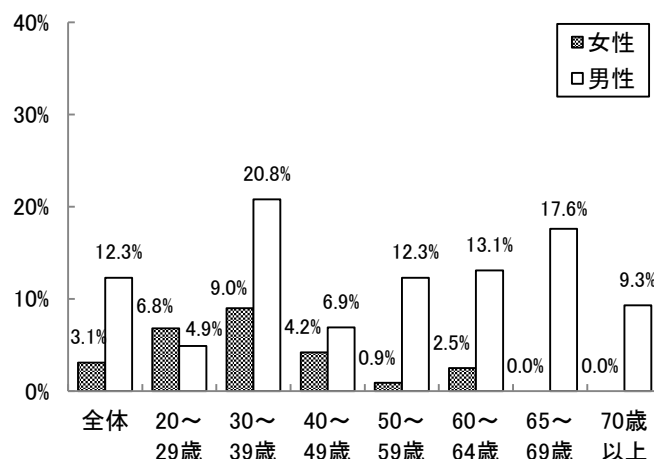
デートDVの経験の有無『大声でどなったり、傷つく言葉を言う』  
（複数回答あてはまるものすべて 性・年齢別）

女性N=859 男性N=644

図表26-6 されたことがある



図表26-7 したことがある





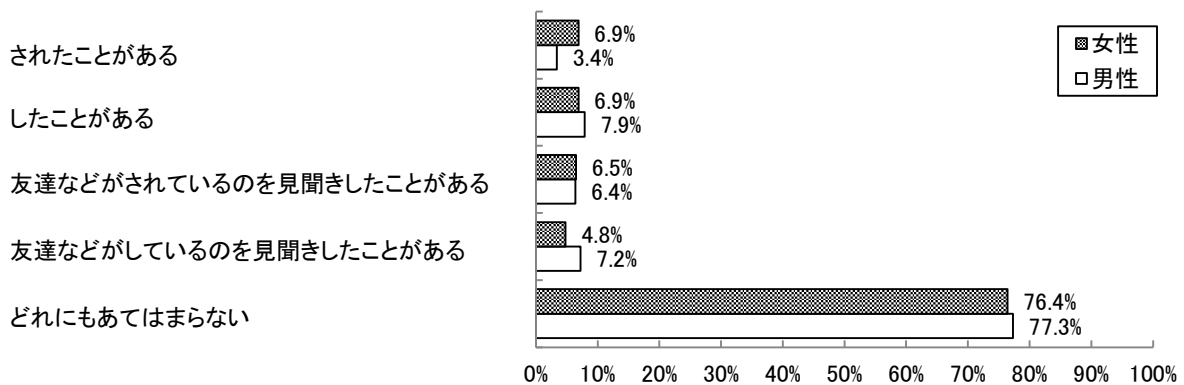
ウ. 何を言っても長時間無視し続ける

全体で見ると、「何を言っても長時間無視し続ける」について、「したことがある」は6.8%となっています。(図表26-1)

男女別で見ると、「どれにもあてはまらない」を除いて、女性は「されたことがある」と「したことがある」が6.9%で最も高く、男性は「したことがある」(7.9%)が最も高く、次いで、『しているのを見聞きしたことがある』(7.2%)となっています。(図表26-8)

図表26-8 デートDVの経験の有無「何を言っても長時間無視し続ける」  
(複数回答あてはまるものすべて 男女別)

女性N=857 男性N=643



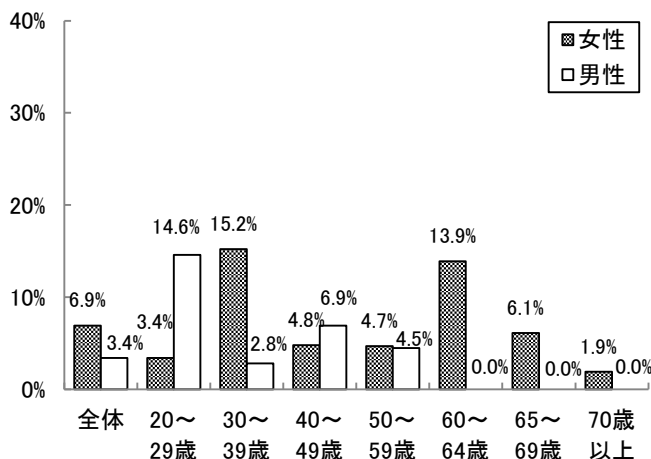
性・年齢別に見ると、「されたことがある」について、女性は「30～39歳」が15.2%で最も高く、次いで、「60～64歳」が13.9%となっています。男性は、「20～29歳」が14.6%で最も高くなっています。「20～29歳」を除いたすべての年齢層で女性が男性より高くなっています。(図表26-9)

「したことがある」について、男性の「60～64歳」が11.9%と最も高く、次いで、男性の「50～59歳」が11.2%となっています。(図表26-10)

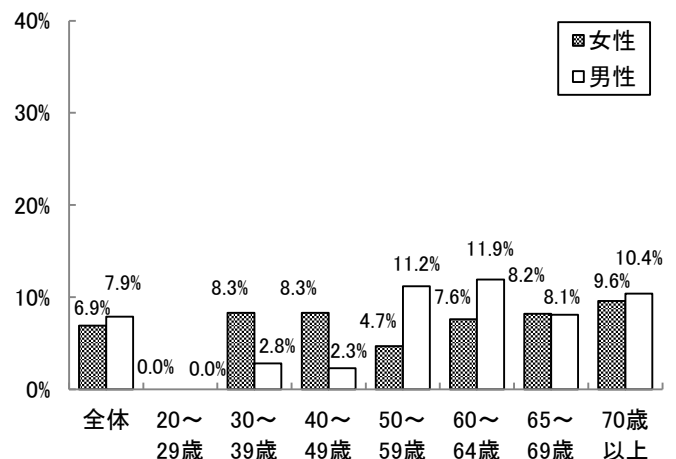
デートDVの経験の有無「何を言っても長時間無視し続ける」  
(複数回答あてはまるものすべて 性・年齢別)

女性N=853 男性N=643

図表26-9 されたことがある



図表26-10 したことがある

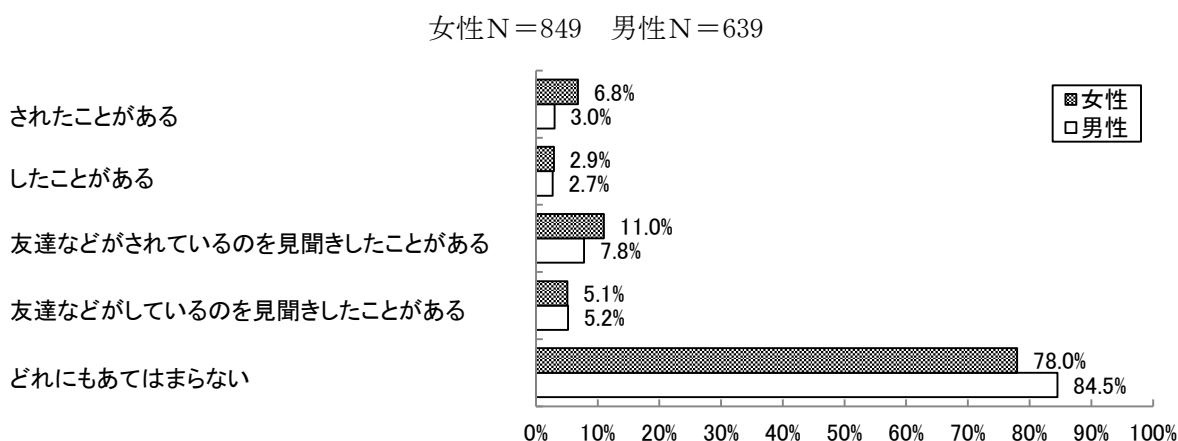


## エ. 携帯のチェック、友達づきあいの制限

全体で見ると、「携帯のチェック、友達づきあいの制限」について、「したことがある」は2.5%、「されたことがある」が4.6%、『されているのを見聞きしたことがある』が8.6%となっています。（図表26-1）

男女別で見ると、「どれにもあてはまらない」を除いて、女性は『されているのを見聞きしたことがある』が11.0%で最も高く、次いで、「されたことがある」が6.8%となっています。男性は、『されているのを見聞きしたことがある』が7.8%で最も高くなっています。（図表26-11）

図表26-11 デートDVの経験の有無「携帯のチェック、友達づきあいの制限」  
（複数回答あてはまるものすべて 男女別）



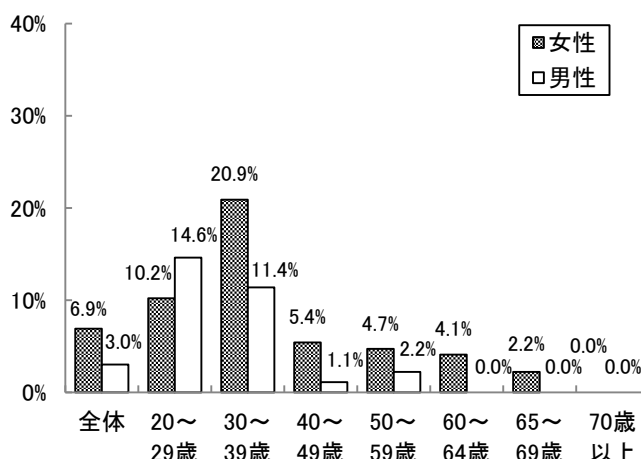
性・年齢別に見ると、「されたことがある」について、女性は「30～39歳」が20.9%と最も高く、次いで、「20～29歳」が10.2%となっています。男性は「20～29歳」が14.6%と最も高くなっています。（図表26-12）

『されているのを見聞きしたことがある』について、女性は「20～29歳」が23.7%と最も高く、次いで、「30～39歳」が20.9%となっています。男性は「30～39歳」が22.9%と最も高く、次いで「20～29歳」が14.6%となっています。（図表26-13）

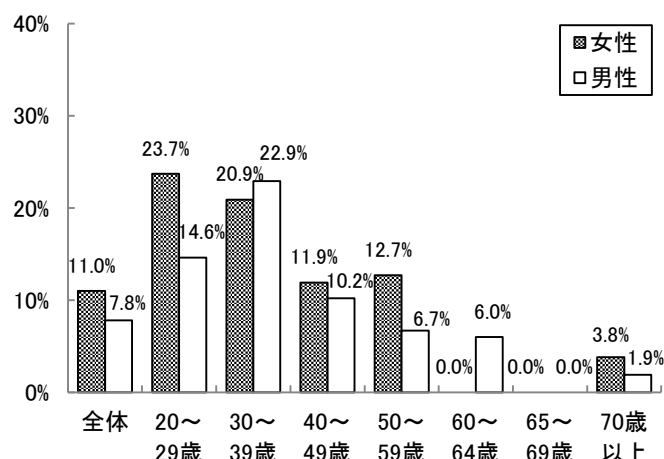
デートDVの経験の有無「携帯のチェック、友達づきあいの制限」  
（複数回答あてはまるものすべて 性・年齢別）

女性N=845 男性N=639

図表26-12 されたことがある



図表26-13 されているのを見聞きした

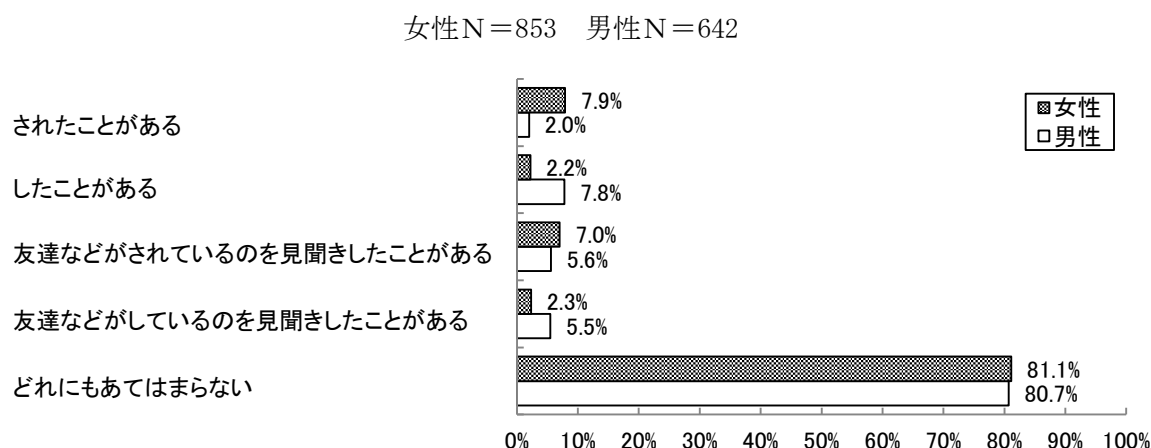


### オ. 二人のことで勝手に一人で決める

全体で見ると、「二人のことで勝手に一人で決める」について、「したことがある」は4.8%、「されたことがある」が4.3%、『されているのを見聞きしたことがある』が5.8%となっています。(図表26-1)

男女別で見ると、「どれにもあてはまらない」を除いて、女性は「されたことがある」が7.9%と最も高く、次いで、『されているのを見聞きしたことがある』が7.0%となっています。男性は「したことがある」が7.8%で最も高くなっています。(図表26-14)

図表26-14 デートDVの経験の有無「二人のことで勝手に一人で決める」  
(複数回答あてはまるものすべて 男女別)



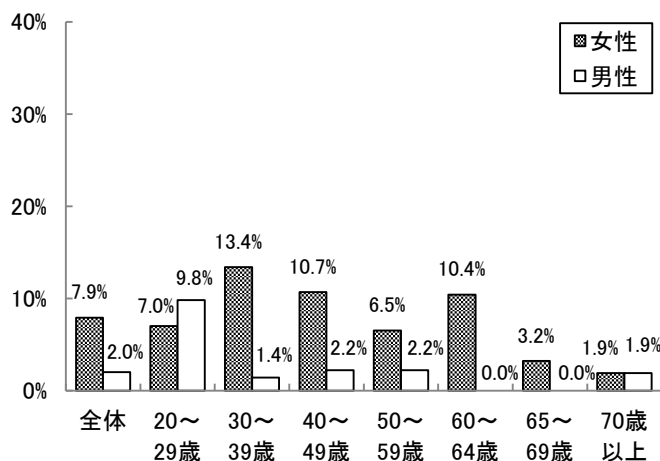
性・年齢別に見ると、「されたことがある」は、女性は「30～39歳」が13.4%と最も高く、次いで、「60～64歳」が10.4%となっています。男性は「20～29歳」が9.8%で最も高くなっています。(図表26-15)

「したことがある」は、男性は「70歳以上」が18.4%と最も高く、次いで、「65～69歳」が9.5%となっています。どの年齢層も男性が女性より高くなっています。(図表26-16)

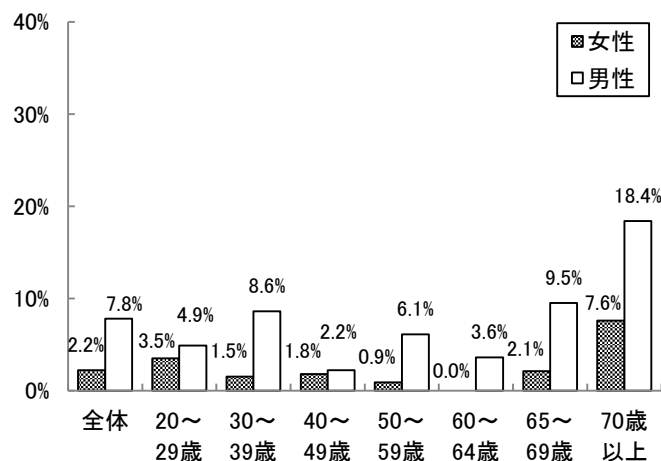
デートDVの経験の有無「二人のことで勝手に一人で決める」  
(複数回答あてはまるものすべて 性・年齢別)

女性N=849 男性N=642

図表26-15 されたことがある



図表26-16 したことがある



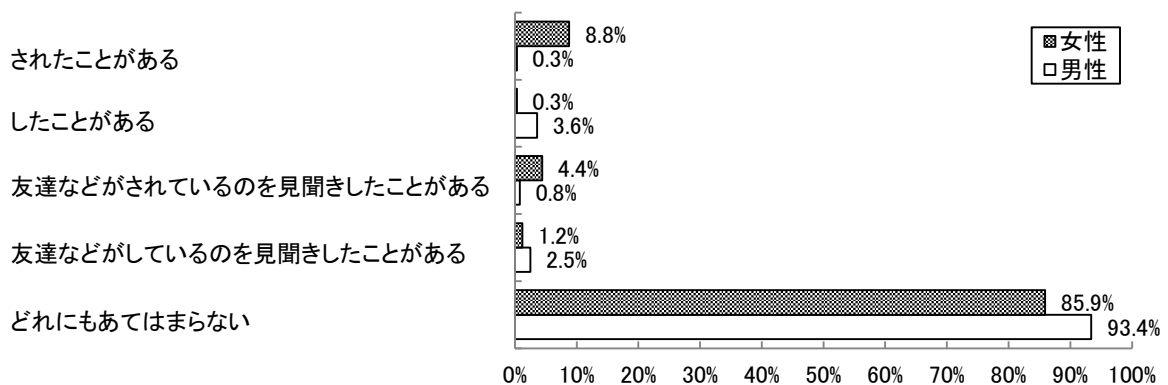
カ. 性的な行為を無理強いする

全体で見ると、「性的な行為を無理強いする」について、「したことがある」は 1.6%、「されたことがある」が 4.7%、『されているのを見聞きしたことがある』が 2.6%となっています。(図表 26-1)

男女別で見ると、「どれにもあてはまらない」を除いて、女性は、「されたことがある」が 8.8%で最も高く、次いで、『されているのを見聞きしたことがある』が 4.4%となっています。男性は、「したことがある」が 3.6%で最も高くなっています。(図表 26-17)

図表 26-17 デートDVの経験の有無「性的な行為を無理強いする」  
(複数回答あてはまるものすべて 男女別)

女性N=859 男性N=638



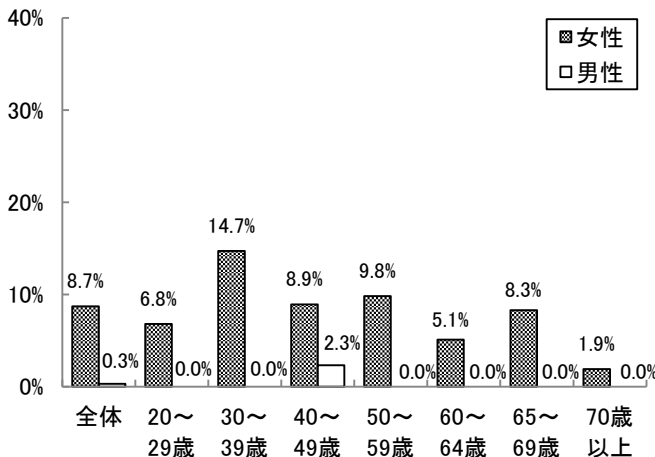
性・年齢別に見ると、「されたことがある」について、女性は「30～39歳」が 14.7%と最も高く、次いで「50～59歳」が 9.8%となっています。男性は「40～49歳」を除いて、すべて 0.0%となっています。(図表 26-18)

「したことがある」について、男性は「40～49歳」が 6.9%で最も高く、次いで、「50～59歳」が 4.4%となっています。(図表 26-19)

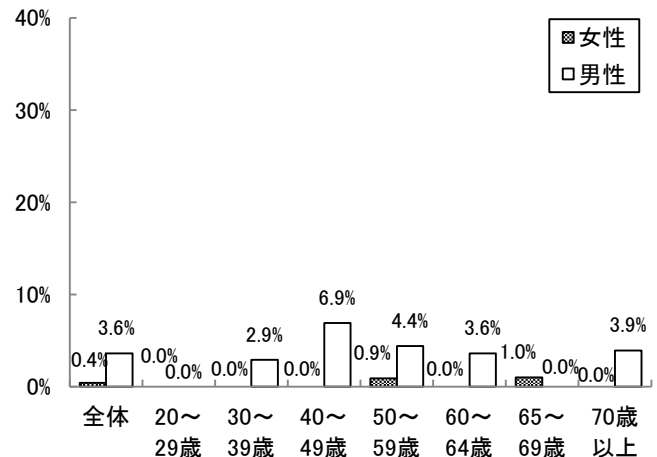
デートDVの経験の有無「性的な行為を無理強いする」  
(複数回答あてはまるものすべて 性・年齢別)

女性N=855 男性N=638

図表26-18 されたことがある



図表26-19 したことがある



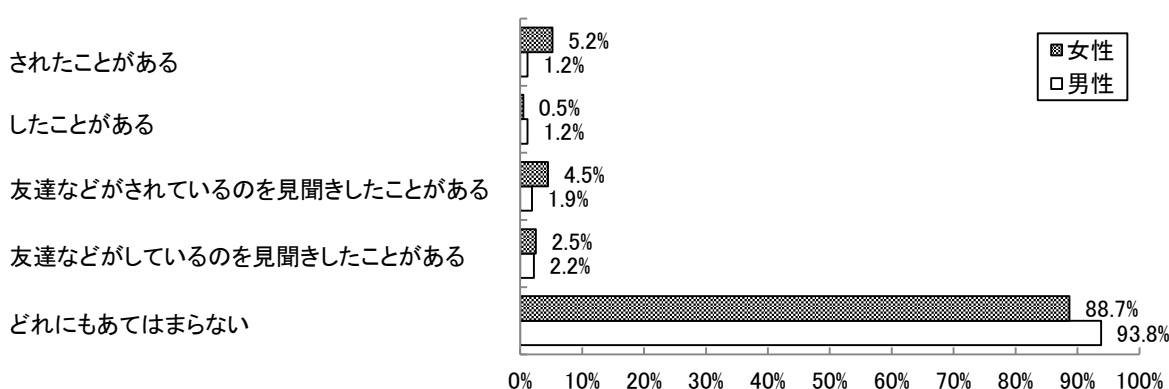
### キ. デートの費用等、お金をせびる

全体で見ると、「デートの費用等、お金をせびる」について、「したことがある」は0.7%、「されたことがある」が3.1%、『されているのを見聞きしたことがある』が3.0%となっています。(図表26-1)

男女別で見ると、「どれにもあてはまらない」を除いて、女性は「されたことがある」が5.2%で最も高く、次いで、『されているのを見聞きしたことがある』が4.5%となっています。男性は『しているのを見聞きしたことがある』が2.2%で最も高くなっています。(図表26-20)

図表26-20 デートDVの経験の有無「デートの費用等、お金をせびる」  
(複数回答あてはまるものすべて 男女別)

女性N=846 男性N=641



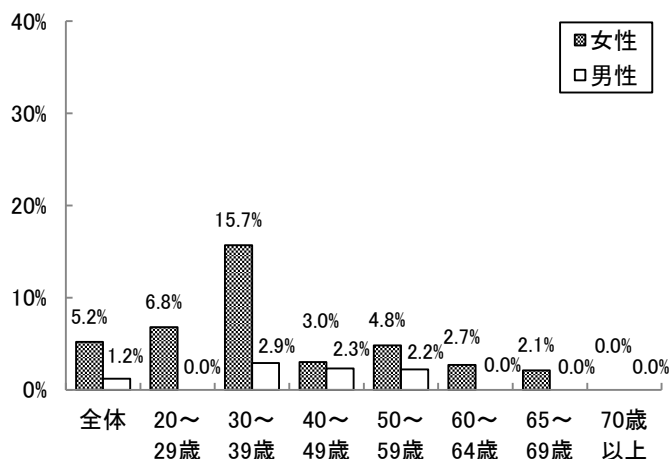
性・年齢別に見ると、「されたことがある」について、女性は「30～39歳」が15.7%と最も高く、次いで、「20～29歳」が6.8%となっています。男性は「30～39歳」～「50～59歳」で2.0%台となっています。(図表26-21)

「されているのを見聞きしたことがある」は、女性は「20～29歳」が10.2%で最も高く、次いで、「30～39歳」が9.0%となっています。男性は「30～39歳」が5.7%で最も高く、次いで、「20～29歳」が4.9%となっています。(図表26-22)

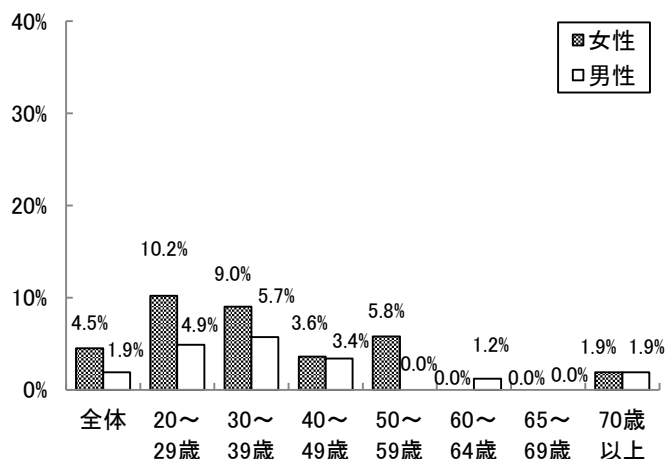
デートDVの経験の有無「デートの費用等、お金をせびる」  
(複数回答あてはまるものすべて 性・年齢別)

女性N=842 男性N=641

図表26-21 されたことがある



図表26-22 されているのを見聞きした

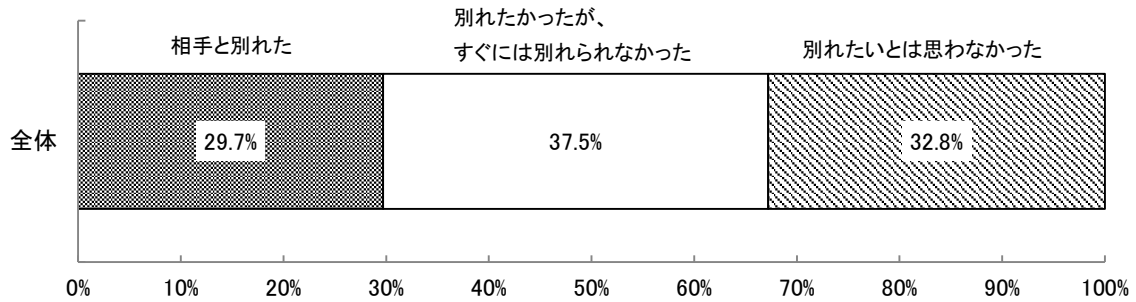


**新規調査**

問26-1 (問26で「されたことがある」を選んだ方におうかがいします。)  
問26のような行為を経験したあと、あなたはどのようにしましたか。(〇は1つ)

図表26-1-1 デートDVへの対処(全体)

N=259



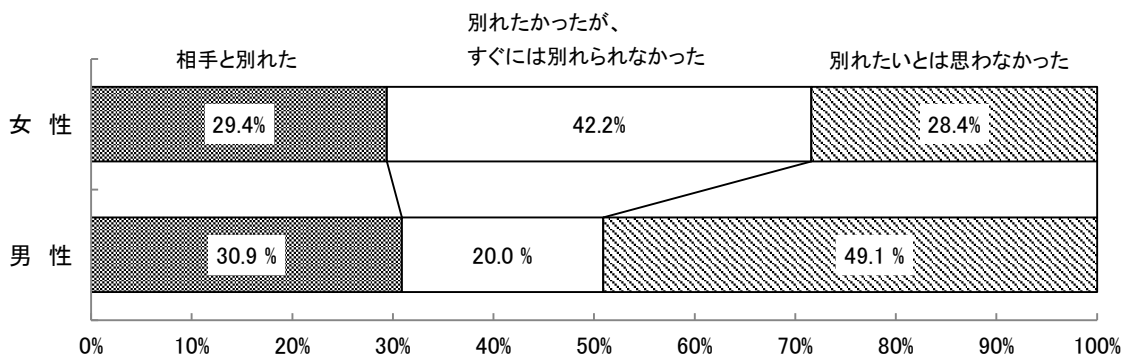
◎デートDVへの対処は、男性の約5割が「別れたいとは思わなかった」、女性の約4割が『すぐには別れられなかった』と答えている

デートDVの被害を受けたあと、「どのように対処したか」を尋ねたところ、「別れたかったが、すぐには別れられなかった」と答えた人の割合は37.5%と最も高く、次いで「別れたいとは思わなかった」は32.8%、「相手と別れた」は29.7%となっています。(図表26-1-1)

男女別で見ると、男性の約5割が「別れたいとは思わなかった」と答えています。また、「別れたかったが、すぐには別れられなかった」と答えた人の割合は、女性(42.2%)が男性(20.0%)より22.2ポイント高く、「別れたいとは思わなかった」と答えた人の割合は男性(49.1%)が女性(28.4%)より20.7ポイント高くなっています。(図表26-1-2)

図表26-1-2 デートDVへの対処(男女別)

女性N=204 男性N=55



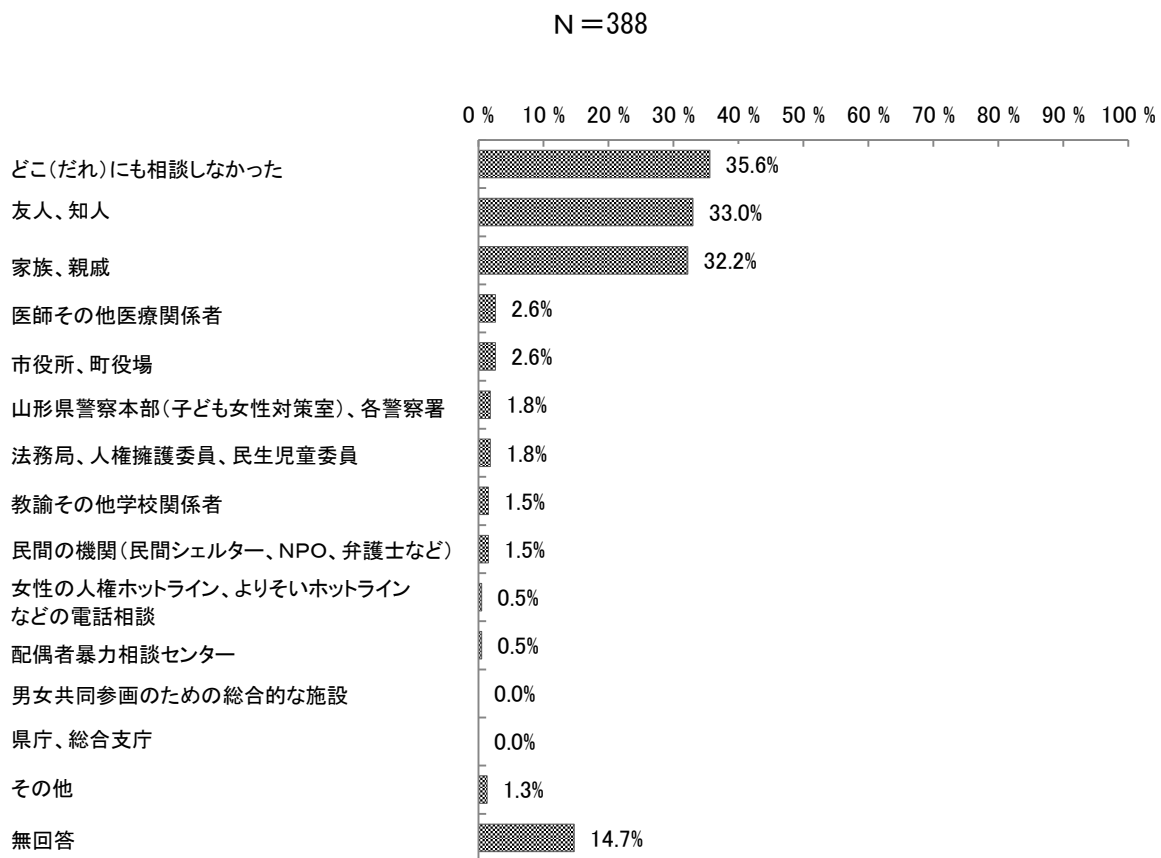
## (27) DVを受けた時の相談先について

### 新規調査

問27（問25で「何回もされた」「1、2回された」問26で「されたことがある」を1つでも選んだ方におうかがいします。）

あなたはこれまでに、問25や問26であげたような配偶者や恋人からの行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。（○はあてはまるものすべて）

図表27-1 DVについて相談をした相手（全体）



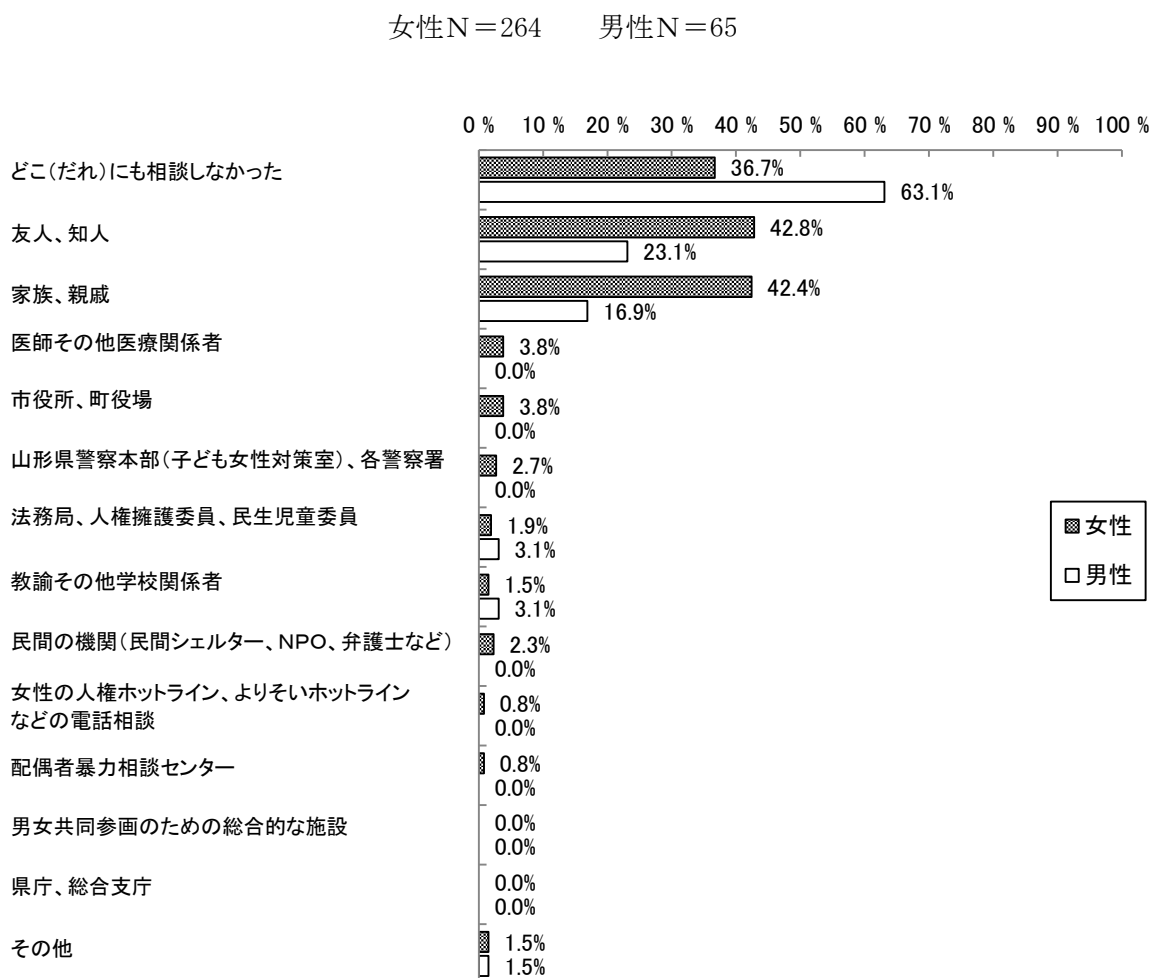
◎DVを受けた時に「どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えた人の割合が最も高く、特に男性の割合が高い

女性は回答者の約4割が「友人、知人」、「家族、親戚」など身近な存在に相談している

配偶者・パートナーや恋人からDVの経験があると答えた人に、「打ち明けたり相談したりしたか」を尋ねたところ、「どこ(だれ)にも相談しなかった」(35.6%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「友人、知人」(33.0%)、「家族、親戚」(32.2%)となっています。(図表27-1)

男女別に見ると、女性では「友人、知人」(42.8%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「家族、親戚」(42.4%)であり、4割以上の方が身近な人に相談をしています。一方、男性は「どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えた人の割合が63.1%と6割以上にのぼっています。(図表27-2)

図表27-2 DVについて相談をした相手(複数回答あてはまるものすべて 男女別)





回答の多かった項目を性・年齢別で見ると、「どこ（だれ）にも相談しなかった」と答えた人は、「20～29歳」および「70歳以上」を除いて男性が女性よりも割合が高くなっています。（図表27-3）

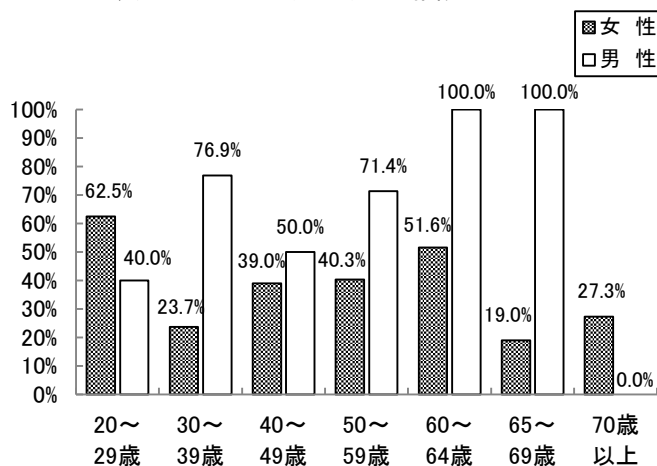
「友人、知人」では「20～29歳」および「50～59歳」を除いて女性が男性よりも割合が高く、「30～39歳」の女性が67.8%と最も高くなっています。（図表27-4）

「家族、親戚」では、女性は「70歳以上」が72.7%と最も高く、次いで「65～69歳」が71.4%、男性は「70歳以上」が100.0%と最も高くなっています。（図表27-5）

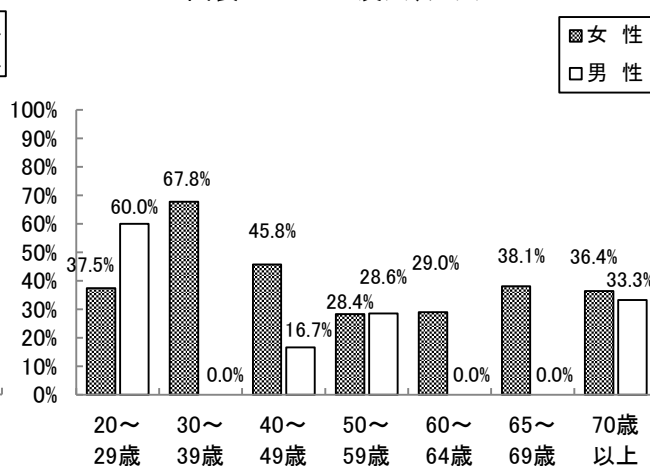
DVについて相談をした相手（複数回答あてはまるものすべて 性・年齢別）

女性N=264 男性N=65

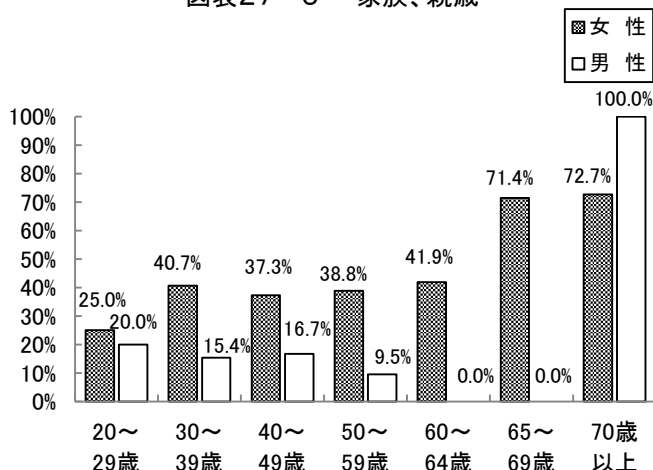
図表27-3 どこ（だれ）にも相談しなかった



図表27-4 友人、知人



図表27-5 家族、親戚

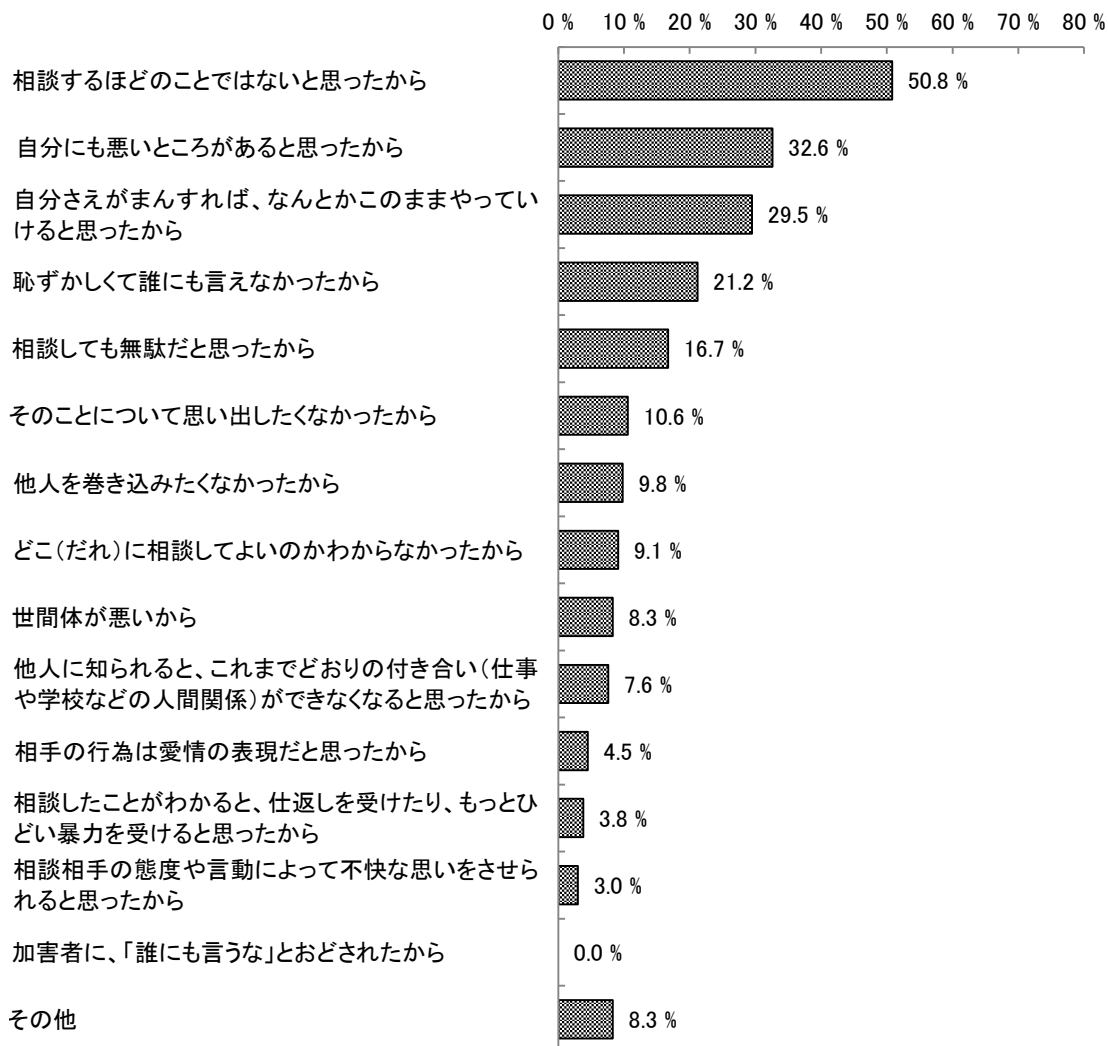


## 新規調査

問27-1 (問27で「どこ(だれ)にも相談しなかった」を選んだ方におうかがいします。) どこ(だれ)にも相談しなかったのは、なぜですか。  
(〇はあてはまるものすべて)

図表27-1-1 相談しなかった理由(全体)

N=132



◎DVについて相談しなかった理由は、「相談するほどのことではないと思ったから」が半数を占め、『自分にも悪いところがある』、『自分さえがまんすれば』は、3割程度となっている

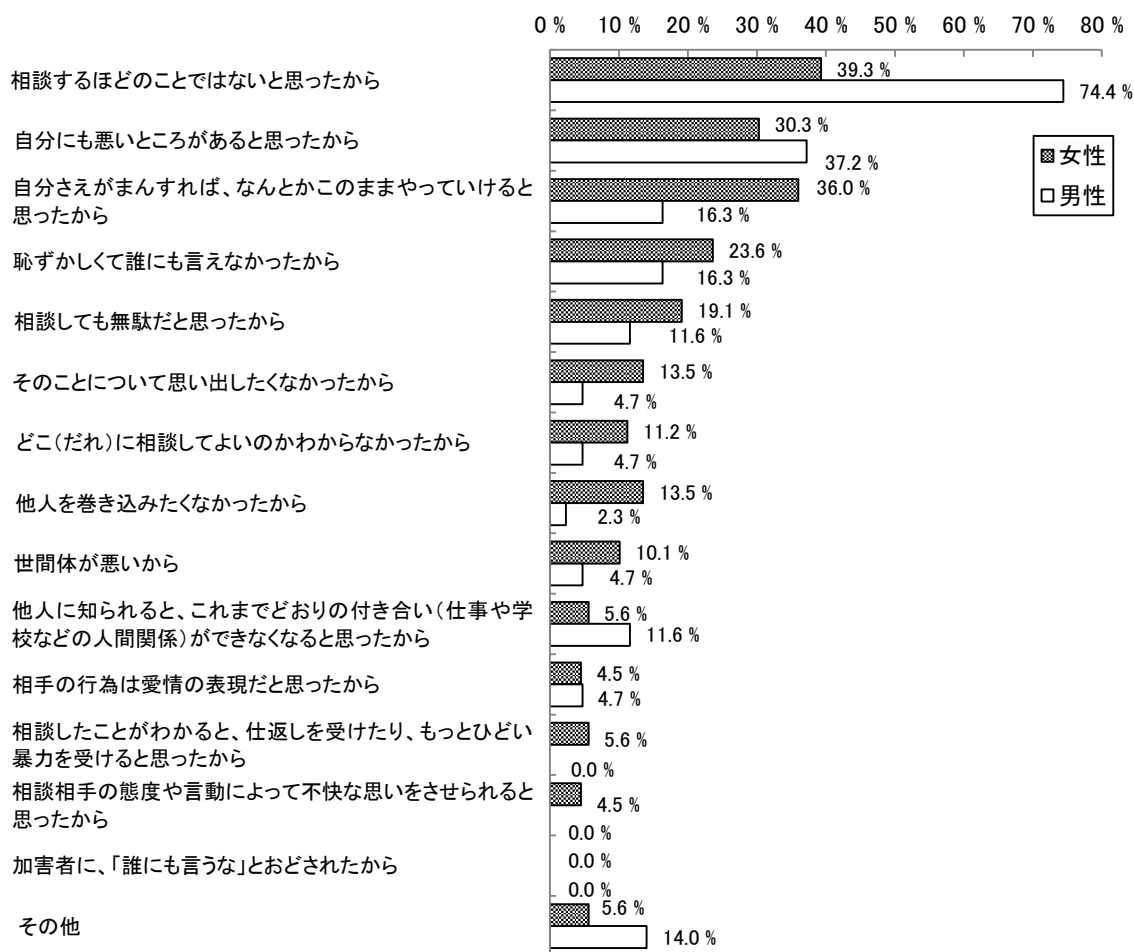
前問で「どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えた人に、「相談しなかった理由」を尋ねたところ、「相談するほどのことではないと思ったから」(50.8%)が最も高く、次いで、「自分にも悪いところがあると思ったから」(32.6%)、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」(29.5%)となっています。(図表27-1-1)

男女別に見ると、女性では「相談するほどのことではないと思った」(39.3%)が最も高く、次いで『自分さえがまんすれば』(36.0%)、『自分にも悪いところがある』(30.3%)となっています。男性では「相談するほどのことではないと思った」(74.4%)が最も高くなっています。

また、『自分さえがまんすれば』と回答した人は、女性(36.0%)が男性(16.3%)より19.7ポイント高く、「他人を巻き込みたくなかったから」でも女性(13.5%)が男性(2.3%)より11.2ポイント高くなっています。(図表27-1-2)

図表27-1-2 相談しなかった理由(複数回答あてはまるものすべて 男女別)

女性N=89 男性N=43



(28) DVをなくすための対策について

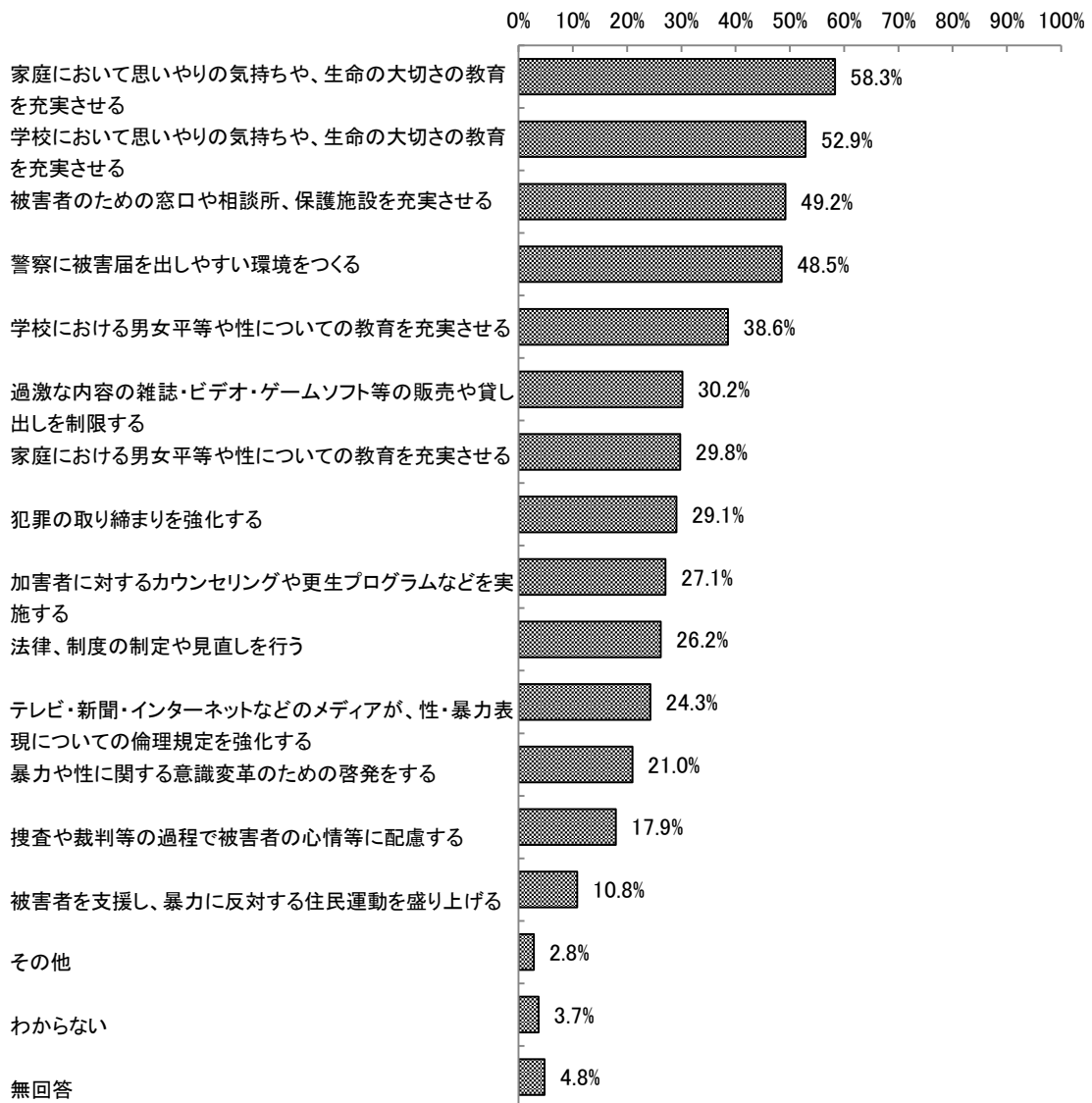
**新規調査**

問28 デートDV（交際相手からの暴力）、DV（配偶者からの暴力）、セクシュアルハラスメント、ストーカー、性暴力などの行為が問題になっていますが、このような行為を予防し、なくすためには、どうすればよいと思いますか。

（○はあてはまるものすべて）

図表28-1 デートDV、DVをなくすために必要なこと（全体）

N=1,659



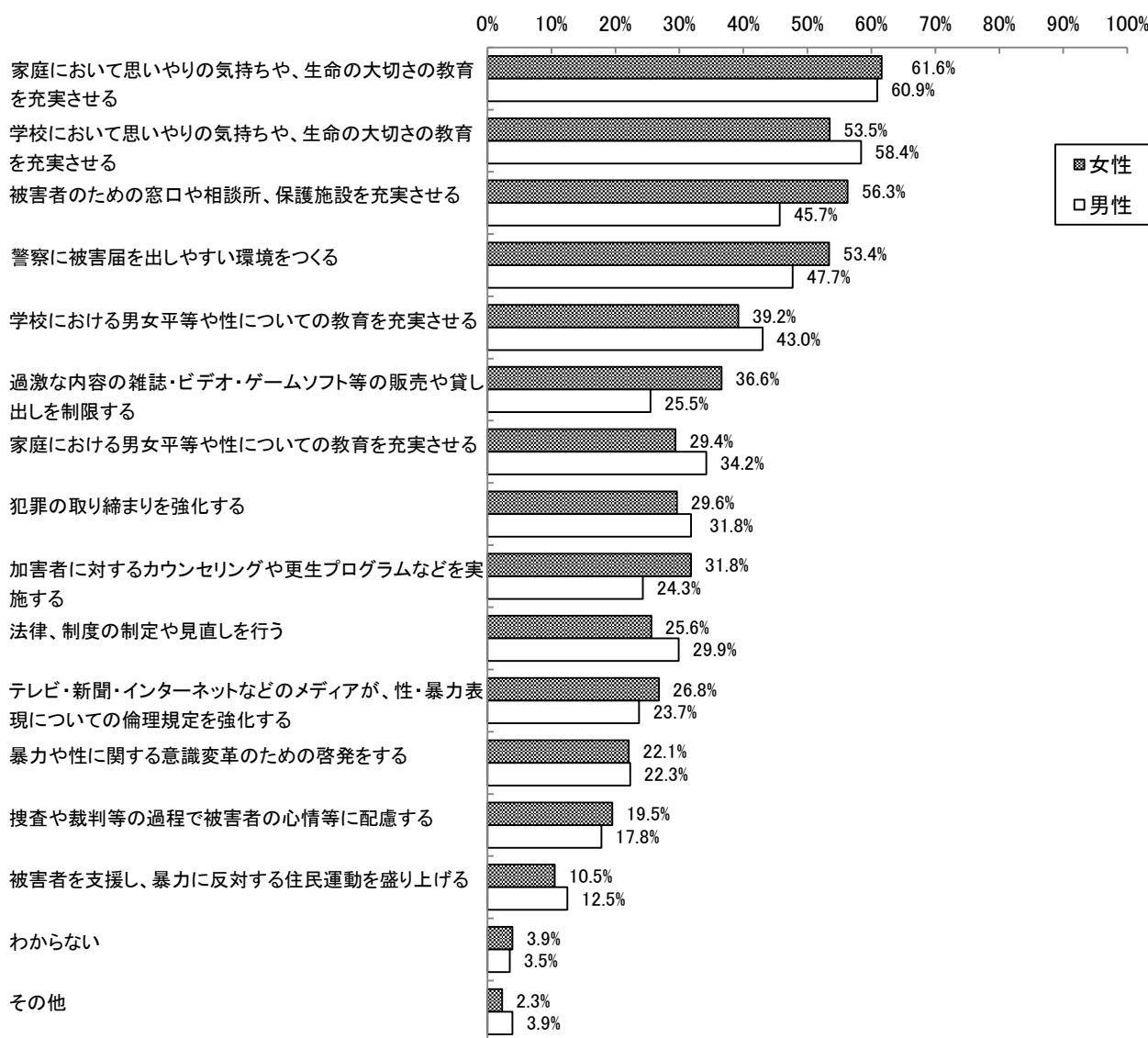
◎家庭や学校における『思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育の充実』が必要と答えた人の割合が5割を超えている

「恋人・配偶者からの暴力、性犯罪などをなくすために必要なこと」について尋ねたところ、「家庭において思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育を充実させる」(58.3%) が最も高く、次いで、「学校において思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育を充実させる」(52.9%)、「被害者のための窓口や相談所、保護施設を充実させる」(49.2%)、「警察に被害届を出しやすい環境をつくる」(48.5%) となっています。(図表 28-1)

男女別に見ると、男女ともに「家庭において思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育を充実させる」(女性 61.6%、男性 60.9%) と答えた人の割合が最も高くなっています。女性は次いで、「被害者のための窓口や相談所、保護施設を充実させる」(56.3%)、「学校において思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育を充実させる」(53.5%) となっており、男性は次いで、「学校において思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育を充実させる」(58.4%)、「警察に被害届を出しやすい環境をつくる」(47.7%) となっています。(図表 28-2)

図表 28-2 デートDV、DVをなくすために必要なこと  
(複数回答あてはまるものすべて 男女別)

女性N=908 男性N=663



性・年齢別で見ると、『家庭での思いやりや、生命の大切さの教育の充実』については、最も男女差が大きかったのは「65～69歳」で、女性（84.4%）が男性（67.5%）より16.9ポイント高くなっています。（図表28-3）

『学校での思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育の充実』については、「20～29歳」から「50～59歳」は男性が女性より高くなっており、「60～64歳」～「70歳以上」は女性が男性より高くなっています。（図表28-4）

『被害者の窓口や相談所、保護施設の充実』と答えた人の割合は、すべての年齢層で女性が男性より高くなっており、「20～29歳」と「40～49歳」では、男女で20ポイント以上の差があります。（図表28-5）

『被害届を出しやすい環境づくり』については、「50～59歳」を除くすべての年齢層で、女性が男性より高くなっており、特に「20～29歳」～「30～39歳」の女性では6割を超えています。（図表28-6）

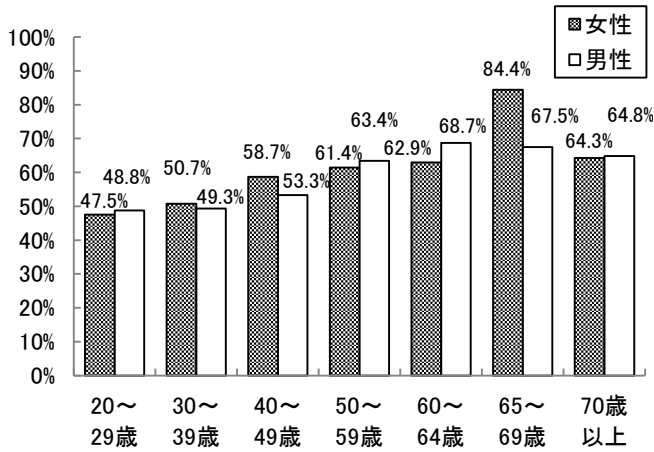
『学校での男女平等や性の教育の充実』と答えた人の割合は、「60～64歳」、「65～69歳」を除くすべての年齢層で、男性が女性より高くなっています。（図表28-7）

『過激な内容の物の販売・貸出の制限』と答えた人の割合は、「20～29歳」を除くすべての年齢層で、女性が男性より高くなっており、特に「65～69歳」では26.4ポイント、「60～64歳」では20.2ポイント女性が男性より高くなっています。（図表28-8）

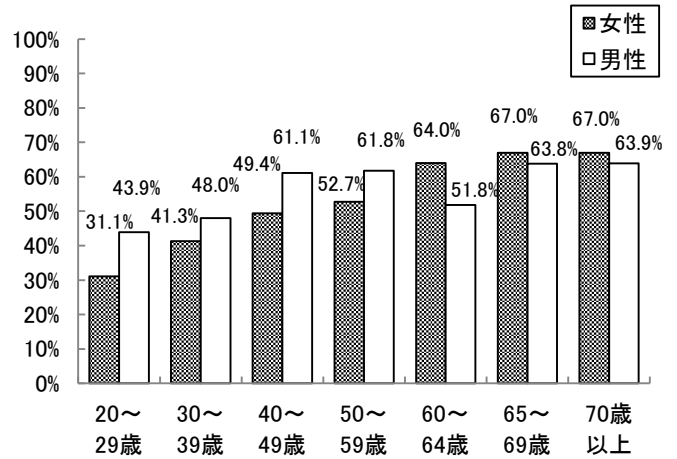
デートDV、DVをなくすために必要なこと（複数回答あてはまるものすべて 性・年齢別）

女性N=904 男性N=663

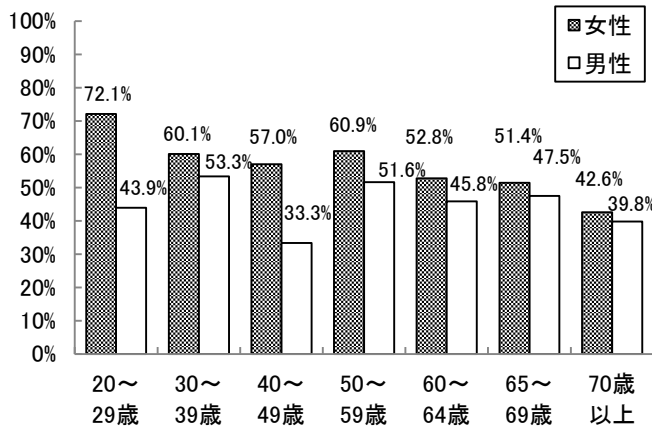
図表28-3 家庭での思いやりの気持ちや、  
生命の大切さの教育の充実



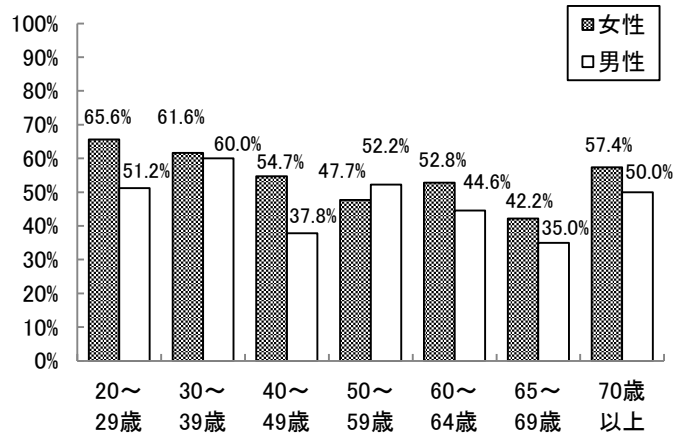
図表28-4 学校での思いやりの気持ちや、  
生命の大切さの教育の充実



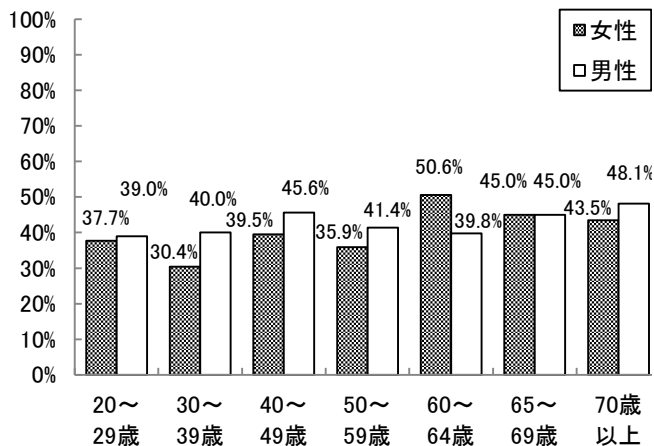
図表28-5 被害者の窓口や相談所、保護施設の充実



図表28-6 被害届を出しやすい環境づくり



図表28-7 学校での男女平等や性の教育の充実



図表28-8 過激な内容の物の販売・貸出の制限

